

博士課程教育リーディングプログラム 平成25年度プログラム実施状況報告書

採択年度	平成25年度		
申請大学名	東京大学	申請大学長名	濱田純一
申請類型	複合領域（多文化共生社会）	プログラム責任者名	長谷川壽一
整理番号	S01	プログラムコーディネーター名	内野儀
プログラム名	多文化共生・統合人間学プログラム		

<プログラム進捗状況概要>

1. プログラムの目的・大学の改革構想

本学位プログラムの目的は、学際的・複合領域的な5年一貫の博士課程教育プログラムを実施することで、多文化共生社会の実現に取り組む次世代トップリーダーを養成することである。本学位プログラムは、多文化共生の理念へのチャレンジを先導する人材に必要な学知を、専門性を備えたうえでのさらに広い視座を持ち、新たな価値の創造を可能とする新しい教養と定め、「統合人間学」と特徴づける。本事業は社会に統合的人間学を修めた優秀な人材を輩出すると同時に、多文化共生社会の実現には「教養」が必要であると広く社会に向けて提言する。こうした本学位プログラムの目的は、東京大学の中期的ビジョンを示す「東京大学行動シナリオ：FOREST 2015」における「真の教養を備えたタフな学生」の理念に合致している。本プログラムの直接的なアウトプットは多文化共生社会の実現を目指す次世代トップリーダーを輩出することであるが、アウトカムとして、人文科学・社会科学・自然科学の新たな大学院教育の理念としての統合人間学を社会に提示することが挙げられる。

2. プログラムの進捗状況

本年度は平成26年度より開始する本学位プログラムの試験的運用を視野に入れ、組織の整備（運営委員会の立ち上げ、運営規則・内規の整備、事務局機能の立ち上げ、特任教員等の雇用、自然科学系の演習環境の整備）、環境の整備（東京大学駒場キャンパス事務局、本郷キャンパス連絡室、ウェブサイトの立ち上げ）を実施した。同時に、プロトタイプ版（沖縄プロジェクト、福島プロジェクト、ベルリンプロジェクト等）のプログラムをテストした。また、優秀な学生獲得のための広報（パンフレットの作成と配布）・リクルート・プログラム説明会（駒場キャンパス2回、本郷キャンパス2回の計4回）を行った。加えて、国際メンターズチームのメンバー及び今後国際連携が期待される諸機関と協議を行い、教育体制を整備した。さらに、本事業の開始を学内・学外・社会にアピールするため、統合人間学に関するシンポジウムを開催した。